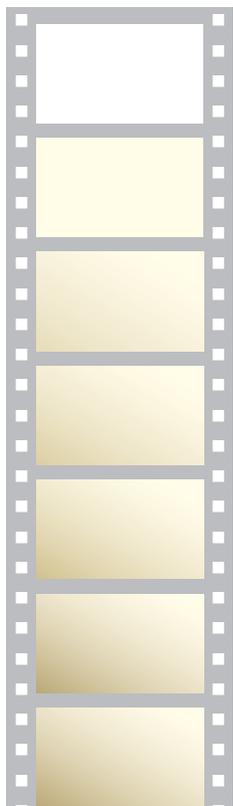
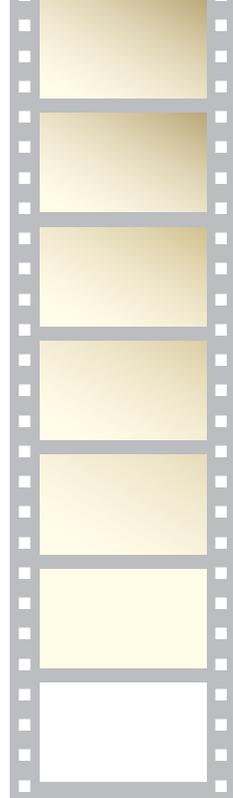


伸^ノさんのシネマトーク

鈴木 伸夫



第五十六回 「ダステイはイカが？」

前回、今は亡きイギリスの女性歌手「ダステイ・スプリングフィールド」(99年3月、乳ガンのため59才で逝去)の話が急に出て来たので驚いた人もいらつしやるかと思いません。

彼女は21才の時(60年)、兄と兄の友人の三人で、フォーク・カントリー系のグループ「スプリングフィールド」を結成し、61年、62年全英トップ・ボーカルグループとして活躍しましたが63年解散。24才のダステイはソロデビューし、「二人だけのデート」を全英、そして全米でもヒットさせました。また66年には、イタリアのサンレモ音楽祭入賞曲「この胸のときめきを」を英米ともに大ヒットさせました。

このあとのヒット曲が原題「IF YOU GO AWAY」邦題「イカナイデ行かないで」
なのです。

「イカ！ナイデ」と言わせた「AR^{アラ}さん」も、言った寿司屋の主人^{オヤジ}さんも一緒になってぼくをだましていたとわかったのは、数日たってからでした。

ところで、「AR^{アラ}さん」はYBCのアナウンサー入社試験を受けて合格したのですが、一般にアナウンサー試験は、第一次音声テスト、第二次音声テスト（時には第三次音声テストもあります）それから一般職と同じ筆記試験、第四次面接試験、そして第五次は健康診断と、第五次まで生き残らねばなりません。

これは本当かどうか本人に聞いたわけではないのはつきりしませんが…？

「AR^{アラ}さん」は得意の話術で、試験が終わった当日の夜、受験したYBCの当時のアナウンサー部長を繁華街へ誘い、自分を採用しなければ、会社の損失になると切々と語り、あまりにも素直に「AR^{アラ}さん」の話を聞くアナウンサー部長に「私はあなたが気に入った。私はあなたと一緒に働きたい。」と語り、「私を採用すれば会社も損はない。これで、来年の新人アナも決まったし、今晚大いに飲みましょう！」と言っ

たかどうかわかりませんが、「ARさん」は、翌年YBCに採用され、人気アナの道を歩むのでした。つまり、会社の規程にない第六次の面接を、自分でこれから上司になる部長にしたのです。

(了)

(文中敬称略)

伸

平成24年12月